

1 事業の成果

当初予定していたビジュアルコンサートは、結果的に写真展等のイベント開催が先行して決まってしまったことにより開催できなかったものの、写真展開催およびビジュアルトークショー（講演）開催により、活動目的とする環境保全の普及啓発活動はいくつも達成できたと考えている。また、ラジオというメディアを上手に利用することで、当 NPO 活動予定の告知や当 NPO の活動について世間にしらしめるネットワーク作りも確立できたものと考えている。さらに、神奈川県や横浜市といった自治体との連携、他の NPO との協力体制、活動原資となる寄付金集めのなども、いい形でその方法と手段を確立できたのではないかと考えている。今後の課題としては、より確実な活動資金および活動スタッフの調達であり、よりクオリティーの高い、より効果的な活動をめざすべきと考える。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 自然環境保護に関する普及啓発事業

ア 写真展開催事業

- ・内 容 「～水の輪廻～かながわの水物語」と題した写真展を開催。神奈川県及び横浜市の水源地である宮ヶ瀬湖、丹沢湖、奥相模湖、道志川などの水源の沢で水中から撮影した B2 および A1 サイズの作品を展示。神奈川県及び横浜市の水源地の水のクオリティーの高さを示した。またその結果として、神奈川県の水源環境保全課や横浜市の水道局との関係を深めることができた。
- ・日 時 10 月 9 日～10 月 22 日
- ・場 所 そごう横浜店 7F 特設会場
- ・従事者人員 45 人
- ・受益対象者 買い物目的にそごう横浜店を訪れた神奈川県在住および近隣県
在住者 約 1 万人
- ・支出額 477,608 円

イ ビジュアルトークショー（講演）開催事業

- ・内 容 アの写真展開催期間中に、神奈川県知事・黒岩祐治氏と当 NPO 理事長との公開トークショーを開催。大型モニターに理事長自ら撮影した写真展展示作品等を写し、水源地から茅ヶ崎や葉山などの相模湾の海中写真を見せながら、神奈川県の豊かな自然環境を保全して行くことの重要性を県知事の県政方針とともに説いた。
- ・日 時 10 月 15 日
- ・場 所 そごう横浜店 3F 特設会場
- ・従事者人員 5 人
- ・受益対象者 会場に来場した者 約 200 人
- ・支出額 37,950 円

ウ 写真展開催事業

- ・内 容 「海の森・山の森」と題した写真展を開催。B0 (1456×1030mm) および A1 (841×594mm) という大きなサイズのプリントを展示。一滴の水が川を下り、最終的に海に注ぐ。その海の水が蒸発して雲となり、雨となって再び水が巡ってくる。この水の輪廻（循環）を示すとともに、クジラやサカナ、エビやカニなど、海の中に棲む様々な生き物たちの生き様を示し、われわれ人間がもっと強い意識を持って山の森と海の森（海藻やサンゴ）を大切にしていかなければならないことを示した。その結果として秋田県男鹿市や潟上市などの自治体との連携を確立することができ、次年度の活動を秋田県でも行えるルートづくりとなった。
- ・日 時 10月20日～12月30日
- ・場 所 Blue-Hall Gallery (秋田県潟上市)
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 会場に来場した者 約7,000人
- ・支出額 10,390円

エ 写真展開催事業

- ・内 容 横浜市環境創造局が主催する生物多様性に関するイベント「ヨコハマbフェスティバル2012」の一環として開催。「～海の生物多様性～ われら海の子、みな兄弟」と題して、A2サイズ18点、A3ノビサイズ32点の計50点のクジラやサカナ、エビやカニなど、海の中に棲む様々な生き物たちの生き様を示した水中撮影作品を展示。私たちの住む地球は、海の惑星であり、海に棲む生き物たちを思いやり、生活排水などを含めて海を意識した生活を送らなければ、地球環境は破壊し、最終的に私たちも住めなくなることを示唆した。この活動により、横浜市から10万円の活動助成金を後日いただくことが決定した。
- ・日 時 11月16日～11月30日
- ・場 所 NTT 東日本神奈川支社 光 House Yokohama Gallery
- ・従事者人員 27人
- ・受益対象者 会場に来場した者 約1,300人
- ・支出額 278,765円

オ ビジュアルトークショー（講演）開催事業

- ・内 容 エの写真展開催期間中に、同会場内のセミナールームを使い、2台の大型モニターに100余点の写真作品を写しながらのビジュアルトークショーを開催。テーマは、「未来を担う子供たちへの環境メッセージ」。幼児から小学校高学年の子供たち、またその保護者にターゲットを絞り込んだ内容の講演で、私たちの住む地球は、海の惑星であり、海に棲む生き物たちを思いやり、生活排水などを含めて海を意識した生活を送らなければ、地球環境は破壊し、最終的に私たちも住めなくなることを示唆した。
- ・日 時 11月25日
- ・場 所 NTT 東日本神奈川支社 光 House Yokohama Gallery 内セ

ミ

ナールーム

- ・ 従事者人員 3 人
- ・ 受益対象者 会場に来場した者 約 30 人
- ・ 支出額 5,975 円

カ 写真展開催事業

- ・ 内 容 アとエで展示した作品を 2 週ごとに作品入れ替えを行って展示。在校生 1500 名および職員 50 名が鑑賞しただけではなく、新講堂落成記念のイベント等がとり行われ、2 日間に 2,000 余名の来場者の目に触れることとなった。
- ・ 日 時 12 月 01 日～01 月 19 日
- ・ 場 所 聖光学院中学校・高等学校新講堂前大ロビー
- ・ 従事者人員 14 人
- ・ 受益対象者 会場に来場した者 約 5,600 人
- ・ 支出額 153,152 円

キ ビジュアルトークショー（講演）開催事業

- ・ 内 容 水に関する季刊誌「Agua（スペイン語で水を意味する）」の創刊記念パーティーに合わせて、この雑誌編集部と当 NPO とのコラボ企画として当 NPO 理事長によるビジュアルトークショーを開催した。水源地を水中撮影することで、色がにじんだり不思議な揺らぎ感のある作品が撮れる。それらをプロジェクターで大型スクリーンに投影しながら、水資源がいかに重要なのか、またふだんの水の使い方への留意の必要なことを説いた。
- ・ 日 時 12 月 13 日
- ・ 場 所 渋谷 Daylight Kitchen
- ・ 従事者人員 7 人
- ・ 受益対象者 会場に来場した者 約 200 人
- ・ 支出額 9,500 円

ク ビジュアルトークショー（講演）開催事業

- ・ 内 容 スルガ銀行ミッドタウン支店と当 NPO とのコラボ開催。超大型スクリーンに映像を映しながら、当 NPO 理事長による講演。一滴の水が川を下り、最終的に海に注ぐ。その海の水が蒸発して雲となり、雨となって再び水が巡ってくる。この水の輪廻（循環）を示すとともに、クジラやサカナ、エビやカニなど、海の中に棲む様々な生き物たちの生き様を示し、われわれ人間がもっと強い意識を持って水を大切に使い、そのことによって山の森と海の森（海藻やサンゴ）とをいたわって行かねばならないことを説いた。
- ・ 日 時 01 月 29 日
- ・ 場 所 スルガ銀行ミッドタウン渋谷 Daylight Kitchen
- ・ 従事者人員 3 人
- ・ 受益対象者 会場に来場した者 約 90 人
- ・ 支出額 6,000 円

ケ 写真展開催事業

- ・内 容 開かれた行政を目指す神奈川県の方針として、毎月 1 日県庁を見学できる日を神奈川県庁が設けた。この日がそれにあたり、昭和三年に造られたレトロな大議会議室公開に合わせ、アで展示した作品を神奈川県建具協同組合作製の神奈川県産間伐杉材の A1 サイズの額に入れて 12 作品を展示。神奈川県の水源地で撮影した作品を展示することで神奈川県の水資源の豊かさと水のクオリティの高さを示した。
- ・日 時 02 月 17 日
- ・場 所 神奈川県庁内大議会議場
- ・従事者人員 16 人
- ・受益対象者 会場に来場した者 約 600 人
- ・支出額 126,037 円